

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

2020 年東京大会開催への過度な期待は禁物 野口 悠紀雄 (早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問)

1. オリンピック東京大会が決まったときのマスメディアの反応は、「めでたいことだ。これが、日本再生のきっかけになる」というものだった。ただし、それは、「これによって日本人の体力が向上する」という意味ではない。「大会準備のための投資が、日本経済に新たな需要をもたらすと期待される」という意味である。「オリンピックを機会に体を鍛えよう」というのならわかるが、「オリンピックを機会に投資をしよう」というのは、いかがなものだろうか？
2. 多くの日本人にとって、オリンピックとは、競技場や付属施設が建設されること、道路、鉄道などの関連公共事業が行われること、そして、ホテルが増設され、世界中から観光客が押し寄せることであるようだ。もっと言えばオリンピックとは、めったにない金もうけの機会であるようだ。だから、自分の事業を何とかオリンピックに関連づけようというわけだ。
3. 1964 年の東京大会のときは、オリンピックは経済成長の起爆剤になった。東京の地下鉄が整備され、新幹線ができた。こうした社会資本の集中整備は、その後の経済成長を支える基盤施設になった。しかし、いまの日本で同じことを期待するのは、アナクロニズム (時代錯誤) 以外の何物でもない。なぜなら、現在の日本は、当時とは全く異なる経済条件下にあるからだ。わずか数週間の一時的な利用のために膨大な投資を行えば、将来、重荷になるばかりだ。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2014 年 1 月 18 日号)

経営者のための営業学

「しまむら」がライバル、ヨーカ堂、イオンに出店

1. 長年の競合イトーヨーカ堂系 SC (ショッピングセンター) に出店を果たした「しまむら」。低価格衣料品専門店の「しまむら」がテナントとして入居した。流通関係者も「仇敵」を迎え入れるとは、と感慨深げだ。「しまむら」は、2011 年に広島島のイズミヤ、滋賀の平和堂などの SC や GMS (総合スーパー) への展開を開始。2013 年 9 月には、イオンの子会社となったダイエー内に初出店を果たし、セブン&アイとイオンという国内 2 大流通グループを陥落させた。
2. 加えて GMS だけでなく、2012 年には大分、埼玉の地方百貨店、またファッションビルの「津田沼パルコ」(千葉県船橋市) にも出店した。GMS は衣料品の販売額減退が続き発注ロットの縮小から仕入れコストが上昇。かつての敵であった「しまむら」をテナント導入せざるをえなくなった。

(参考:「週刊東洋経済」:2014 年 1 月 11 日号)

ワンポイント経営アドバイス

社長の率先重範で社員は変わる

1. わたらせ渓谷鉄道 (以下、わ鐵) は、前身が足尾の銅を運んでいた足尾鉄道が、全線開通してから今年ちょうど百年目だ。1994 年に年間輸送人員 106 万人を記録したのをピークに、樺澤豊氏が社長に就任した 2000 年には 50 万人を割り込むまでになった。2012 年には前年比 1 万 7 千人増に転じ、よい方向に転じる兆しが見えてきた。
2. 社長就任後は、山本五十六の「やってみせ、言ってみせ、聞かせ、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」の率先重範だった。ある時は社長の仕事をして、ある時は営業をする。まるで社長兼部長兼課長兼営業だった。社長の率先重範によって組織が大きく変わった。例えば、運転士は空いている時間があれば駅前の駐車場の交通整理をしたり、駅弁を列車に積み込んだりするようになった。
(参考:「致知」2014 年 3 月号)

古典に学ぶ

知を外に求めるな

(解説)「道」を体得したなら、外に出ずとも、おのずと天下の動静が判り、外を見ずとも、おのずと天体の運行が判る。ところが、知識を外に求めて、駆けずり廻れば廻るほど、ますます知識はあやふやになる。だから「道」を体得した聖人は、外物に頼らずに物事を理解し、感覚に訴えずに物事を識別し、知ろうと努めず無為を守って知のはたらきを完全にします。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)